

【カーブス 第15回フードドライブ実施報告】

フードドライブ食品約196トンを793施設へ

～長引くコロナ禍の生活をフードドライブの食品で支援～

「女性だけの30分フィットネス カーブス」などフィットネス施設を運営する株式会社カーブスジャパン(本社:東京都港区、代表:増本 岳)は、ご家庭にある食品を募り、最寄りの福祉施設へお届けする活動「フードドライブ」において、約196トンの食品を793の福祉施設にお届けしました。2022年1月15日から1か月間の募集期間に、約13万5千名の方から食品が寄せられ、3月中旬までに各店舗が、それぞれ最寄りの食品を必要とする施設にお届けいたしました。

フードドライブは、主に家庭で余っている食品を集めて地域の施設などに寄付する活動で、1960年代にアメリカで始まりました。カーブスは、日本ではまだ活動が盛んではなかった2007年に全国組織で初めて実施し、以来15回目の開催となる今年は、**全国1,953店舗でカーブス会員や地域の方々に食品を募りました。**約74.8万人(2021年11月末現在)の会員を有するカーブスは、**地域に根差した店舗運営を活用し**、食品を必要としながら確保ができない家庭や子ども、高齢者の方々のための施設・団体に寄付し、地域社会への貢献活動に尽力しています。また、同活動を通じて、農林水産省が食品産業の環境対策として掲げる食品ロスの削減の一助となるべく活動しています。

食品を寄付した施設からは、お届けした食品への感謝の言葉に加え、コロナ禍でも活動を続けていること、地域の皆さんに支えられていることへの感謝の言葉を頂戴しております。また、食品をお届けした793施設のうち、児童養護施設、母子生活支援施設など直接的に子どもたちに関わる施設は全体の半数以上を占めていることもあり、「外出自粛やイベント・行事の中止でストレスが溜まるなか、フードドライブがきっかけで明るい気持ちになれた」、「コロナ禍の影響で子ども達と一緒に買い出しに行けないので食料品やお菓子をたくさんいただけ、とても助かっております。」といったお声も多数いただきました。

地域密着のコミュニティを有するカーブスだからこそできる、「いま、私たちにできること」を、地域の皆さんと力を合わせて今後も取り組んでいきたいと思っております。

【第15回カーブスフードドライブ活動実績】

- 実施店舗 : 全国のカーブス店舗 1,953店舗 (2021年11月末日現在)
- 活動時期 : <1/15~2/15>食品受付、<同2/15~3月中旬>各店から最寄り施設へ食品の進呈
- 参加者数 : 全国約13万5千人
- 進呈数 : 全国793の施設・団体 (児童養護施設、母子生活支援施設、社会福祉協議会など)
- 集まった食品の量 : 約196トン (例:缶詰やレトルト食品、乾麺、調味料、お米など)

<活動の流れ>



〈①各店で食品募集〉



〈②仕分け・梱包、運搬〉



〈③最寄り施設へお届け〉

お届けした施設・団体からのお礼状(一部を抜粋してご紹介)

コロナ禍が長引く中で、マスクを付けて生活することや、思うように外出できない日々が当たり前になりつつありますが、今年も皆さまから多くの食材をいただき、入所者はとても喜んでおります。経済的に苦しく、精神的なストレスを抱え肉体的に疲れているお母さん、行事も限られ遠くに遊びに行けない子ども達は、日々前を向いて生活しております。頂いた食材を使って母子で調理をしたり、家庭で食事をしたりすることがリフレッシュの機会となっているように感じます。どのような状況でも変わりなく活動を継続されているカーブスの皆さまには、尊敬の念でいっぱいです。

母子支援施設

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、子どもたちも楽しみにしていた学校行事やイベントが行えず残念だったという声が聞こえています。光の见えない状況に不安な毎日ではありますが、その様ななかで今年もご支援をいただきましたことに、子どもたち、職員ともに大変感謝しております。

特に施設内で過ごす時間も多くなり、いただいた食品を使って子ども達とお菓子作りや、お料理をして過ごしたいと思います。

児童養護施設

新型コロナウイルス感染症の終わりが見えない中で、仕事も減り、収入が激減して、食べる物にこと欠く母子家庭や高齢者家庭が多くなり、フードバンクに食糧支援を求める方達が激増しております。支援を必要とするフードバンク食品は、レトルト品を中心に多岐に渡り、要望に応えるだけの品数と数量を集めるのに、日々苦勞をしております。そんな中、貴社からの大量の食品のご支援をいただき、ボランティアスタッフ一同感謝にたえません。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

フードバンク

◆カーブスとは

女性だけの30分健康体操教室「カーブス」は、病気と介護の不安と孤独のない、生きるエネルギーがあふれる社会をつくることを目的に、全国に1,953店舗(2021年11月末日現在)を展開し、40歳代～70歳代を中心に約74.8万人(2021年11月末日現在)の会員をサポートしています。カーブスのインストラクターは、会員の身体の状態に合わせた運動指導の他、お客様との密接なコミュニケーション、お客様同士のコミュニティづくりまで、運動を続けていただくためのサポートを行っています。

大学・専門研究機関との共同研究により様々なエビデンスを有するカーブス独自のトレーニングは、女性や高齢者が安心して無理なく使用できるよう開発した、体力や筋力に合わせて動かす速さで負荷が変わる**油圧式のマシンを使用し、30秒の「筋力トレーニング」と30秒の「有酸素運動」を交互に行い、1回30分で必要なすべてのトレーニングが終了**します。ダイエットや健康改善などメタボ解消と転倒防止に必要な脚力のパワーアップによる介護予防対策^{*1}、高齢者の記憶などの広範囲な認知機能の改善^{*3}などに効果的なことが実証されています。

^{*1} 国立健康・栄養研究所との共同研究

^{*3} 東北大学加齢医学研究所との共同研究

<会社概要>

社名：株式会社カーブスジャパン

設立：2005年2月28日 / 代表者：増本 岳

資本金：1億円 / 従業員数：300名(2021年8月現在)

事業概要：女性だけの30分健康体操教室「カーブス」などフィットネス施設の運営

所在地：東京都港区芝浦3-9-1 芝浦ルネサイトタワー 11階